

こと
Sの
る下
の意
と日
事)
年十月
スコミ
のは初
の執務
たつて
かじめ
て書面
割につ
統一に
人とな
したド
た責務
ると共
た日本
際貢献
ついて
ン写す

という考えだけでは果たせ
加えてきたが、この会
ない」とし、世界中で、し
議について、「世界を動か
た。」

豊臣秀吉が建てた華麗社
大な邸宅、聚楽第(じゅら
くだい)跡を調査している
京都府埋蔵文化財調査研究
センターは六日、京都市上
京区中立売通大宮角で、金
箔(きんぱく)を押しした瓦
(かわら)の破片約六百点
などを発掘した、と発表し
た。織田信長の安土城や秀
吉の大坂城の瓦よりも大き
く、研究者は「不明な部分
が多い聚楽第を知る大きな
手掛かり」と評価してい

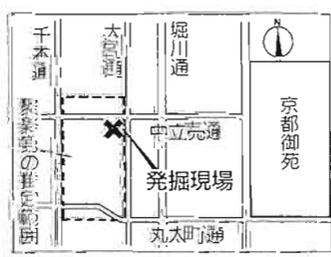
る。
聚楽第のものと確定でき
る瓦が出土したのは初め
て。軒丸瓦や軒平瓦、鬼瓦
に代表される飾瓦の表面の
文様の部分に、金箔が押し
てあったがすでに剥離(は
くり)しているものが大半
だった。大坂城でも見つか
っていない「太閤桐(たい
こうきり)」の紋をかたど
った珍しい瓦(写真左下)
も含まれている。

「日本史」の中で「信長が
安土山で造ったものや、数
年前に彼(秀吉)が大坂で
築いたものよりはるかに豪
華であり、規模においても
卓越していた」(松田毅
一、川崎桃太共訳、中央公
論社刊)と記述されてお
り、当時の建物の威容を具
体的にしのはせる出土品と
なった。



秀吉のふ聚楽第の金箔瓦

京都 堀跡から600点出土



発掘は京都西陣公共職業
安定所の改築に伴うもの
で、面積は四百平方。一
軒は聚楽第の堀の一部に当
たる。まだ底まで掘ってい
ないが、当時の文獻通り、
深さは十、幅は三十以上
上に達すると推定される。
現地を見た足利健亮・京

都大教授(歴史地理学)の
話「こんなに大きな堀があ
り、大量の瓦が出ると思
わなかった。堀といい、金
箔瓦といい、聚楽第が最高
権力者の城だと改めて確認
できる画期的な調査だ。」

天声人語

打木源助、役
者権丁、山田ね
ずみ、赤筋、三
八、新八州、方
領、大躍進、快
進総太、はっか
い、秋まさり、はて、と首
をひねっている人も、聖護
院、練馬、機軸、と続けれ
ば、お分かりだろう。いす
れも大根の名前だ。最近の
「パー」も八百屋では、首
の形子が黒がかった事、

聚楽第の堀跡から出土した金箔瓦
旬、対ソ支援の一環として
六件の日ソ合弁事業を対象
に貿易保険を引き受け、さ
らに十件程度を審査してい
たが、ソ連邦消滅で棚上げ
になっていた。
通産省によると、今年に
入って旧ソ連からの貿易保
険適用償還に対する利払い
の一部が遅延しているが、
「ロシア以外の共和国が一
時的に資金繰りがつかない
害にはならないという。

ため、深刻な事態に至っ
たわけではない」といい、
貿易保険引き受け再開の障
害にはならないという。
「ロシア以外の共和国が一
時的に資金繰りがつかない
害にはならないという。」

「参院奈良補選が終わらな
た。さらに、「二十人も二
木」のまたのあで、

「日本史」の中で「信長が
安土山で造ったものや、数
年前に彼(秀吉)が大坂で
築いたものよりはるかに豪
華であり、規模においても
卓越していた」(松田毅
一、川崎桃太共訳、中央公
論社刊)と記述されてお
り、当時の建物の威容を具
体的にしのはせる出土品と
なった。